件 名 富田林市ケアセンター「けあぱる」熱源設備改修工事

	質 疑 事 項	回 答
1	現場説明要項12(7)】既設備品の移動が必要の場合は、監督官の指定する場所に移動すると有ります。移動する備品をご教示ください。	備品の移動については、現場にて協議によるものとします。
2	【図M02、03】機器・配管の撤去および、はつり作業がありますが、アスベスト含有調査、処分作業の記載が有りません。アスベスト含有調査は本工事と考えて宜しいでしょうか。	煙道および配管保温材についてアスベスト含有調査を行い、無検出との結果を得ています。
3	【図M02、03】アスベスト含有調査が本工事の場合は、保温材の4検体を調査すると考えて宜しいでしょうか。(冷温水管、冷温水機煙道、発電機高温水管、発電機煙道)	煙道および配管保温材についてアスベスト含有調査を行い、無検出との結果を得ています。
4	【図M02、03】 地下機械室の配管類に防振支持の要否がありません。配管改修管に防振措置をすると考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
5	【図M03】 高温水管(コージェネ)は圧力配管用炭素鋼鋼管Sch40ですが、 黒管と考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
6	【図M03】 冷却水管の保温仕様の要否がありません。保温は不要と考えて宜 しいでしょうか。	お見込みの通りです。
7	【図M03】防振継手・フレキシブル継手が合成ゴム製となっておりますが、高温水用はSUS製と考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。ベローズ型と合成ゴム製を適宜使い分けてください。
8	【図M05、14】 既設ポンプ類にスプリング防振架台の記載がありますが、新設ポンプ類にはありません。新設ポンプにスプリング防振装置は必要と考えて宜しいでしょうか。	
9	【図M05】 密閉式膨張タンクの最高使用圧力の記載がありません。ご教示ください。	最高使用圧力0.8MPaを想定しています。
10	【図M04,07,36】 地下機械室からの機器類搬出入ルートの詳細を確認した く、断面図・天井の有無及び搬出入ルートの各ドアの開口有効幅・高さが分か る資料をいただけないでしょうか。	別添資料を参照してください。ただし、詳細な寸法は現況と異なる場合がある ため、図面は参考図とします。
11	【図M08、17】新設冷却塔は、既設基礎を再利用可能と考えて宜しいでしょうか。据付架台等が必要の場合は仕様をご指示ください。	既設基礎再利用です。既設架台を利用できるのであれば利用してください。
12	【図M09、21】 コージェネ煙道の材質が、図M09はSGP、図M21はSUSです。煙道はSUS製と考えて宜しいでしょうか。	コージェネの煙道はSGPで考えております。
13	【現場説明要綱P.2、図M02】9.安全及び公害対策(7)その他に工事関係車両の駐車場は受注者が責任をもって確保しとありますが、機械設備特記仕様書の施工条件等に工事車両の駐車場所及び資材置場を敷地内に設けることができるとあります。現場仮設事務所や加工場、便所等も構内に設置及びスペース確保は出来ると考えて宜しいでしょうか。	敷地内の屋外施設におけるトイレおよび控室の使用は可能ですが、施設管理者との協議により決定とします。またその他のスペースについては、施設運営の支障にならない程度に可能とし、詳細は施設管理者との協議によります。
14	【図M02】機械設備特記仕様書(1)の非破壊検査で穴あけ等はつり工事の探査は放射線透過検査ではなく簡易探査で、方法は図示によるとありますが、図面には記載されておりません。簡易探査は電磁波レーダによる探査と考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
15	【図M02、E01】 機械設備及び電気設備特記仕様書(1)で撤去における金属類等有価材の引渡しに関しては記載されておりません。全て場外搬出処分を行うと考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
16	【図M02】 機械設備特記仕様書(1)には記載されておりませんが、既設吊ボルト・支持材は撤去し、既設インサートは再利用できると考えて宜しいでしょうか。	再利用して宜しいです。
17	【図M03】機械設備特記仕様書(2)で溶接接合に関しては適用されておりません。溶接部の非破壊検査は不要と考えて宜しいでしょうか。	溶接接合がある場合は浸透探傷検査を適用してください。
18	【図M05】 改修機器表で廃熱投入型吸収式冷温水機JR-1の冷却水は1,666L/min(32℃→38℃)、直焚き吸収式冷温水機は1,666L/min(32℃→37.1℃)とありますが、対応する冷却塔CT-1は1,666L/min(37℃→32℃)となっており、冷却水温度仕様があっておりません。ご指示ください。	32℃→37℃として下さい。
19	【図M07】 改修空調配管熱源機械室詳細図の廃熱投入型吸収式冷温水機 JR-1のバルブリストで接続配管系統は冷却水、冷温水及び磨温水の3系統ありますが、瞬間流量計は2個、温度計・圧力計は各4個の2系統分しか記載されておりません。3系統分必要と思われますが、図面どおり2系統分だけと考えて宜しいでしょうか。	3系統分が必要と考えてください。

20	【図M08】 改修空調配管冷却塔廻り詳細図のCT-1,2バルブリストで温度計が記載されておりません。メンテナンスに温度計は必要ですが、図面どおり不要と考えて宜しいでしょうか。	温度計は必要と考えてください。
21	【図M09,27】 改修煙道熱源機械室詳細図でコージェネCGS-1の煙道のMD 65 ¢ は耐熱仕様と考えて宜しいでしょうか。 またMDの開閉制御は自動制御 工事ではなく、コージェネ設備電気工事範囲と考えて宜しいでしょうか。	コージェネの煙道は耐熱仕様と考えています。またMDの開閉制御はコージェネ設備工事と考えています。
22	【図M10】 改修衛生熱源機械室詳細図のコージェネCGS-1バルブリストで冷却水及び温水の2系統が接続されておりますが、温度計は1系統の2個しか記載されておりません。メンテナンスには2系統の4個が必要ですが、図面どおり1系統の2個と考えて宜しいでしょうか。	4個として下さい。
23	【図M07,10】 改修空調配管熱源機械室詳細図及び改修衛生熱源機械室詳細図でコージェネCGS-1のドレン配管が記載されておりません。ご指示ください。	既設コージェネ設備のドレン放流部へ接続してください。
24	【図M09~11】 改修煙道、衛生、ガス熱源機械室詳細図で温水・給湯用熱源のボイラーB-1や熱交の停止が必要な工事がありますが、改修工事に必要な時間または期間は停止できると考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。ただし停止期間については、施設管理者との協議によります。
25	【図M12】機器基礎改修図でコージェネ機器基礎増打ち要領図が記載されておりません。冷温水機基礎増打ちと同じ仕様と考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
26	【図M23】 改修コージェネ設備受変電設備単線結線図において中央監視システムとの絡みが出てきますが、既設中央監視システムメーカが不明です。ご指示ください。	アズビル株式会社です。
27	【図M08,31】 改修空調配管冷却塔廻り詳細図で冷却塔CT-1の温度制御に 三方弁が付いておりますが、自動制御計装図(1)の冷却塔制御では既設の三 方弁制御から二方弁×2個の制御に変更されております。配管詳細図の各三 方弁は二方弁×2に変更すると考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
28	【図M04】付近見取図・配置図で冷却塔廻り撤去搬出入でのクレーン設置位置は芝生とありますが、芝生庭園に乗り入れるための縁石・植栽等の撤去・復旧や養生等の工事がある場合は、その内容・仕様等をご指示ください。また機器類や配管類等の搬出や搬入するための芝生内運搬車停止位置及び走行ルートも芝生面に鉄板を敷設する養生方法で良いと考えて宜しいでしょうか。	移動が必要です。また、経路上にある上下式バリカーやインターロッキング舗
29	【図M04】 冷却塔機器類や配管等の搬出・搬入のためのクレーン・運搬車停止位置及び走行ルートの芝生面に鉄板を敷設いたしますが、工事終了後の敷設鉄板撤去後で芝生再生に必要な作業及び費用が発生する場合は、その作業内容及び作業期間等をご指示ください。	芝生再生については現況復旧程度とし、再生作業を見込んでいません。
30	【図M02、E01,05】機械設備工事特記仕様書(1)5.工事内容の自動制御設備に自動制御及び中央監視盤の改修を行うとありますが、電気設備工事図に既設中央監視盤管理点教表・入出力一覧表と改修工事注記があります。既設中央監視設備の改修工事は既設動力盤にて既設配線との接続及び運転・表示の調整とありますが、中央監視設備工事費は機械設備工事の自動制御設備または電気設備工事のどちらに編入されるのかご指示ください。	機械設備の自動制御設備と考えています。
31	【図E05】 既設中央監視盤管理点数表で既設中央管理点入出力一覧表の注記に3. GR-1(1台)をJR-1(1台)に名称の書換えを行うこととあります。これは既設入出力一覧表(リストまたはグラフィック)でGR-1冷温水入口温度×3及びGR-1冷温水出口温度×3をそれぞれ×2ポイントにし、残り1台分をJR-1の冷温水入口温度及び出口温度に変更し、既設動力盤の名称も1台変更すると考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。